

大切な命を守る 予防接種



感染力が強い麻しんや風しん、自覚症状が出にくいヒトパピローマウイルスについて知り、大切な健康への第一歩を踏み出しましょう。

子供の予防接種について詳しくはこちら▶



問い合わせ すこやかセンター ☎21・8118

麻しん・風しんの予防

麻しんや風しんは、感染者の咳やくしゃみから感染します。麻しんは早産や流産のリスクが高くなるほか、妊娠初期に風しんに感染すると、生まれる赤ちゃんが先天性心疾患、白内障、難聴などを発症する可能性があります。

麻しん・風しん混合ワクチン(MRワクチン)の定期予防接種

【対象】 MR1期：1～2歳未満

MR2期：小学校就学前の1年間

また、下記の対象者は、接種期間を令和9年3月31日まで延長しています。

生年月日	接種券と予診票
令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれ	交付済み
平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ	
昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性で令和7年3月末までの抗体検査の結果、風しんの抗体価が不十分な人	令和7年6月に対象者へ郵送済み



任意風しん予防接種費用の助成

風しん抗体検査の結果、抗体価が市の基準に該当した人にMRワクチンまたは風しんワクチンの費用を助成します。詳しくはすこやかセンターまで問い合わせください。

子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)の定期予防接種

子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられており、日本では毎年約1.1万人の女性が子宮頸がんを発症、約3,000人の女性が亡くなっています。予防接種ではHPVの感染を80～90%予防でき、感染後でも子宮頸がんの発症を防ぐ効果があることがわかってきています。



対象

小学校6年生～高校1年生
の年齢相当の女子

回数・費用

1人につき合計2回または
3回(初回接種の年齢による)
費用は無料です。

接種方法

市から接種券兼予診票を送付しています。接種医療機関へ予約し予診票を持参の上、接種してください。紛失した人は、母子手帳を持ってすこやかセンターにお越しください。